

広報

たまたみ

7
2009 月号
No. 464
平成21年1月10日



町長・議会議長年頭のごあいさつ … 2～3

小沼町長退任、目黒町長が初登庁 他 …………… 4～5

黒谷で館跡を確認 …………… 6～7

町の話 …………… 8～9

年頭のごあいさつ

New Year's greetings



地域経済の自立にむけて

只見町長 目黒 吉久

新年明けましておめでとうございませう。町民の皆様におかれましては、つつがなく輝かしい新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

この機会に、日頃町政にお寄せいただいておりますご支援とご協力に心から感謝申し上げます。

さて本町は今年、町制施行50周年を迎えます。この節目の年に町長として町民の皆様の負託を謙虚に受け止め、町政の執行に全力を挙げて取り組んでいきたいと思ひます。

私は町民の皆様とともに「人・集落・町・自然が輝く」自立と助けあいの心に満ちた町づくりを目指し、その目標は、まず「若者が定住し、子どもを生み育て、やがてその子どもたちが只見に住み続けられるように」、そして「都市部の人たちが、一度は只見に行ってみたい、そしてまた行ってみたいと思われれるような美しい自然と景観を守りながら、町民が誇りを持って暮らしている町をつくる」ことで

す。この目標を達成するために、次の3つの政策を柱として取り組みます。

第一は、「暮らしの成り立つ産業の確立」です。そのために本町の豊かな地域資源を最大限に活用し農・林・水産業の振興を図ります。そして本町の雄大な自然を活かした滞在型の交流・観光事業の推進に力を入れていきます。

第二は、「生涯安心して暮らせる町づくり」です。集落集会所施設を利用した全町的な健康づくり運動の推進、お年寄りにとって安心して暮らせる福祉施設の整備等を進めていきたいと思ひます。

第三は、「町を誇りに思う子どもへの教育と、人づくり」です。年次計画により教育施設の整備を図っていきますが、さらに、本町の自然と郷土の理解を深める学習を充実させたいと思ひます。また、その学習成果を町内にとどめることなく、都会の人たちに伝える機会をつくってきたいと思ひます。

ところで昨年、米国に端を發した金融危機は世界同時不況となり、又原油価格の高騰は私達の生活を直撃しました。そして、ヒト、モノ、カネが凄まじいスピードで世界を駆けめぐりようになり、私たちの生活のすみずみまで、世界経済に組み込まれていると実感した年でもありませんでした。町内では、公共事業の縮小と農産物価格の低迷は、雇用不安と社会不安を引き起こしました。

このような中で本町は、「第2回世界ブナサミット」を開催し、国内外に只見の自然の素晴らしさを伝えました。また「河井継之助シンポジウム」を開催し、戊辰戦争から140年がたった今、改めて「義」の心について世に問い直しました。

将来の本町を担っていく子どもたちの活躍は私たちに感動を与えてくれました。只見高校野球部の夏の大会ベスト16、只見中学校野球部の新人戦県大会優勝は、雪国のハンデを乗り越えたいと思ひます。

中学校ディベートの全国大会ベスト16の成績も、全国の強豪中学校と知の格闘をして勝ち得た、意義のあるものでした。

大人も負けてはいませんでした。消防ポンプ操法小型ポンプの部郡大会優勝は、実に22年ぶりの快挙でした。本町は小規模自治体ですが、これらの昨年の実績を見ますと、一人ひとりの持てる力を遺憾なく發揮した年と思ひます。

私の町政に望む基本姿勢は、「自立」「挑戦」「交流（もてなし）」そして「前進」です。本町の立地条件は厳しくもありませんが、その反面豊かな自然が残っており、たくさんの方の可能性が秘められています。

町民一人ひとりが将来に夢と希望を抱けるように、特に地域経済の自立にむけて、皆様と共にその実現に全力を注いでいきたいと思ひます。平成21年が町民の皆様にとって素晴らしい一年となることを心よりお祈り申し上げます。



住民福祉の向上を

只見町議会議長 齋藤 邦夫

新年明けましておめでとうございます。

只見町議会を代表して、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。町民の皆様には、つつがなく新年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと国内外共、正に激動と変革の年でありました。米国のサブプライムローン問題に端を發した金融危機は、国際経済に大きな衝撃を与え、深刻な経済不況をもたらし、企業の倒産や失業など、国民生活に大きな不安を与えました。また、中国四川省や宮城内陸地震、更には地球温暖化に伴う自然災害など、自然界の怖さと、環境保全の重要性を教示してくれました。

国においては、年金記録の問題をはじめとして、地域医療の確保、後期高齢者医療制度の導入、原油とガソリン価格の乱高下、中国ギョーザに端を發した食品安全の問題、更には、国の緊急不況対策など、暮らしや健康に関わる問題が頻発しました。

本町においては、町政の主宰者である町長選挙が実施され、小沼町政から日黒町政に引き継がれ、議会議員選挙では八名の新人議員が選出され、若さと活力の溢れる新しい視点での町政運営が期待されています。

本町の産業活動は、幸い天候に恵まれ、米・トマト・花きなど、主要作物の作柄は比較的良好でありましたが、価格の低迷が続き農業経営は厳しく、商工観光業も公共事業の大幅削減など、不況の影響を受けて購買力の低下、観光客の減少など、厳しい経営を余儀なくされました。

一方、明るい話題として、海外参加者などで盛会に開催された第二回世界ブナサミット、河井記念館のリニューアル・オープン、特に、只見高校と只見中学校野球部の活躍は、町民に大きな感動を与えてくれました。そして、年末には四人の日本人研究者にノーベル賞が授与され、国民に誇りと自信を与えました。

さて、議会活動ですが、只見町振興計画に基づき、道路整備、

携帯電話鉄塔建設、保育所整備、集落排水事業の推進、給水施設整備、明和小学校改築など、住民と行政が協働する町づくり対策を始め、保健、医療、福祉連携によるサービスの充実など、町民生活に密着した施策や事業

に対して、議会は投資効果など、議案審議を通じて、その役割を果たすべく努力して参りました。さて、平成二十一年度は、町制施行五十周年の記念すべき年ですが、国の経済不況対策を受けて町民生活を守るため、積極的な町政運営が待たれるところです。また、将来を展望した地

場資源活用型産業の確立による地域経済の自立や、少子高齢化に起因する様々な課題に、きめ細かな対策が求められております。特に、若者が定住できる働き場の創設・子育て不安の解消・教育環境の整備、更には、高齢者が安心して暮らせる環境づくりが急務と考えます。

また、地域経済活動の基盤となる国道二八九号など、交通網の整備促進及び自然環境の保全

と利活用など、将来を見据えた対応に努力して参りたいと考えます。

町議会は、地方分権型社会を迎え、益々市町村の自主性が強く求められ、意思決定機関として、その責任と役割が大きくなりました。従って、長と議会は、二元代表制の趣旨に沿った議会運営に努めると共に、町民の負託に応えて住民福祉の向上に努力して参る所存でございますので、町民皆様のご指導・ご支援をお願い申し上げます。

結びに、平成二十一年が町民の皆様にとりまして、すばらしい年になりますようお祈り申し上げます。

平成二十一年一月元旦

小沼昇町長退任

目黒吉久町長が初登庁



**使命感を持って取り組んで
小沼町長退任**

12月15日で任期満了を迎えた小沼昇町長の退任式が、同日町役場でおこなわれました。菅家三雄副町長が「町の将来を見据えた指導をいただきまし。今後も町のために尽力をお

願いします」と送別の言葉を贈りました。小沼町長は職員への最後の訓示で「新町長と新しい感覚で地域づくりを進めてほしいと思います。また常に町民に対する使命感を持って取り組んでください」と述べました。職員から花束を贈られ、大勢の職員の拍手による見送りで役場を後にしました。

小沼町長は平成8年の町長選挙で初当選し、3期12年にわたり町政を担ってきました。

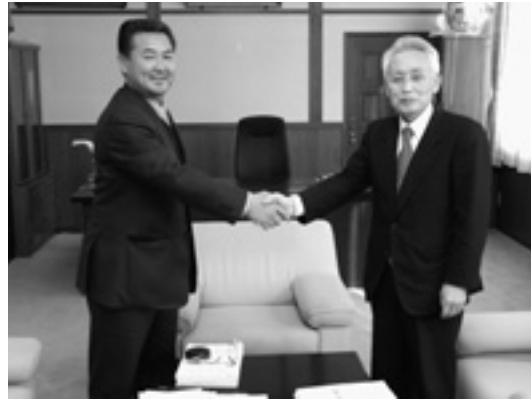
新しいページを 目黒町長就任

12月16日、目黒吉久町長が初登庁しました。町役場玄関前で職員の拍手に出迎えられ、花束を受けました。

就任式で菅家三雄副町長が「これまでの町議、県農業士としての経験を生かされ、地域経営に指針を示してくださいませようお願いします」と歓迎の言葉を述べました。

目黒町長は訓示で「町長としての責任の重さを実感しています。町制50周年を単なる節目としてではなく、これを機に現状を見つめ新たなページを作っていきたいと思えます。地域経済の自立、産業創出が一番の課題です。共に頑張りましょう」と述べました。

町長事務引継ぎ終わる 小沼さん100万円を町に寄附



新旧町長の事務引継ぎは12月18日に町長室でおこなわれ、終了後に二人は、しっかりと握手を交わしました。

同日、前町長の小沼昇さんは、町の「自然首都・只見」応援基金事業に100万円を寄附し、目黒町長に手渡ししました。寄附金は、ブナを核としたまちづくり事業に使われます。

明和小上棟式



12月5日、明和小学校改築工事に棟式がおこなわれ、小沼昇町長ら工事関係者の他、明和小学校から内川敦子校長、山内孝志PTA会長、5・6年生児童が出席しました。餅まきには明和小の全校生が参加しました。

雨が降る中、6年生が元気に餅をまき、子どもたちは傘を差しながら、餅を拾っていました。

バス引渡し式・只高



只見高校の部活動遠征用バスが古くなったことから、町は新しいバスを高校に贈りました。バス引渡し式は12月11日、関係者が出席し、只見高校でおこなわれました。小沼昇町長から鈴木健司校長にバスの鍵が手渡され、生徒を代表し五十嵐春樹生徒会長がお礼の言葉を述べました。

科学実験講座



NPO法人「鐵の学校」主催の「船の科学実験講座」が、12月7日只見地区センターを会場におこなわれました。今年は、船の不思議について、身近にあるものを使用して実験しました。

参加した小・中学生は、船の浮かぶ原理を学び、それを基にした実験を通して、科学への探究心を深めました。

50周年事業企画委員会が報告



12月22日、町制施行50周年記念事業企画運営委員会の舟木和一委員長が、目黒吉久町長に委員会報告書を提出しました。

報告書は、記念事業の基本テーマを「自然・人と人(君と僕)共に歩もう只見町」とし、7つの記念事業を提案しています。また、町の誕生日である8月1日に記念式典を開催する提案がありました。町では報告書の内容にそった事業が実施できるように今後詳細な検討を進めていきます。

テーマは「自然・人と人(君と僕) 共に歩もう只見町」

委員会は、婦人会、地区センター運営委員、まちづくり推進員のそれぞれの代表の方と、町職員の15人で、9月29日から4回にわたり会議を重ねてきました。

▼提案された記念事業名

- ①健康ただみフォレストセラピー大会
- ②町史とおきの話刊行事業
- ③子ども議員による「子ども議会」
- ④只見町からプロ野球選手を出そう!
- ⑤記念植樹事業
- ⑥只見誕生地域再発見・再認識
- ⑦ごはんまつり

町を再発見しよう



12月7日、只見婦人会は、只見の自然に学ぶ会の新国勇さんを講師に招き、ブナ林・要害山等の只見の自然を再発見しようと、勉強会を開きました。只見地区センターを会場に開かれた勉強会には、約30人が参加しました。

新国さんは、「只見には本物の森がある」と、スライドを使ってわかりやすく解説していました。

そば打ち講座



12月21日、只見地区センターでそば打ち講座が開催され、21人が参加しました。只見町そば部会の会員4人が講師となり、そば打ちの技を伝授しました。参加者からは「指導がわかりやすく、そばも大変おいしい」「地元のお伝統料理をもっと知りたい」など大好評でした。そば打ちの技を次の世代へ。

黒谷で館跡を確認

町教委が埋蔵文化財調査

耕作地のほ場整備計画がある黒谷と上福井の埋蔵文化財調査が平成20年7月から10月までおこなわれ、黒谷では館跡が確認されました。調査に携わった町教育委員会の渡部賢史学芸員に調査の概要について報告してもらいました。また、小林七十軒でおこなわれた遺跡調査についても報告してもらいました。

味があります（館Ⅱたて、たち、やかた、とも読むことができました）。

上福井地区では、遺構（柱などの跡）や遺物（土器など）は発見できませんでした。調査を実施した場所は、地面を掘ったところ大量の石や砂利が出てきて、伊南川の氾濫源だったと考えられます。現在の伊南川は、河川の流れがかなり変わっていると考えられます。

朝日地区センターの西側の黒谷字館・井戸尻地区と上福井字仲田・三日町地区のほ場整備計画があり、その付近に遺跡があることから、平成20年7月末より調査を実施しました。上福井地区は荒井館跡（上福井は昔、荒井村という名称であった）、黒谷地区には黒谷館跡があったと古文書などから言われています。

調査の概要

館跡とは、貴族や官人などが住んでいた場所または、丘陵などを利用して作った砦という意

（どこうⅡ柱跡より大きめの穴）、溝跡7条などを確認しました。朝日地区センターの周辺は、保育所や小学校などが建てられていたため、何も出ないかと思っていたところ、多数の痕跡が発見されました。

黒谷館跡は、同じ新編会津風土記に「村ヨリ子丑の方一町ニアリ、東西二十五間、南北四十間、何ノ頃ニカ山内兵庫某住セシト云」となっています。

古文書に残る 荒井館跡と黒谷館跡

荒井跡は新編会津風土記（1809年に会津藩が編纂した古文書）にこう記述されています。「上荒井村館跡二一ハ勝蔵山ニアリ、二町四方計土居ノ形僅カニ存ス、一ハ上荒井村ノ西三町余リニアリ、東西二十五間・南北三十間共ニ何人ノ住セシコトヲ知ス」となっています。

一つは勝蔵山にあり、面積が約2万㎡で館跡の形跡がわずかに残っている、もう一つは上荒井村の西に約300mのところ

にあり、東西約45m、南北約54mの大きさで誰が住んでいたかわからないことが書かれています。

また、旧事雑考（1920年に刊行された史書）には、「密

佐智慶住干伊北郷黒谷村龍泉寺、村主山内兵庫祈願師也」と記されている、村主の山内兵庫が黒谷村の龍泉寺を建てたことが書かれています。山内兵庫は、会津四家の山内氏の一族であることは間違いないと思えますが、詳細は不明です。

黒谷村から北東方向約100mにあり、東西約45m、南北72mで山内兵庫が住んでいたことが書かれています。

山内兵庫という人物についての新編会津風土記を調べると、黒谷村の条「龍泉寺 真言宗 巖風山ト号ス、高野山遍照光院ノ末寺ナリ、何頃ニカ山内兵庫某ト云者此村ニ住セシ時、祈願ノタメ建立セシト云」と記されている、年代は不明ですが、山内兵庫が黒谷村に住んだ時、祈願のため建てたとなっ

また、旧事雑考（1920年に刊行された史書）には、「密

最後に、時代については、

佐智慶住干伊北郷黒谷村龍泉寺、村主山内兵庫祈願師也」と記されている、村主の山内兵庫が黒谷村の龍泉寺を建てたことが書かれています。山内兵庫は、会津四家の山内氏の一族であることは間違いないと思えますが、詳細は不明です。

23トレンチから堀跡、地区センター前のゲートボール場からの痕跡を見ると、建物跡がいくつもの時期にわたって建てられていたことが考えられます。また、出土した土器などの中に、青磁（中国からの輸入した器）が出土したことや寺を祈願のために建立していることから、権力を持った人物が住んでいたことがわかります。黒谷村の館という字名の場所は代々村の地頭や村主が住んでいた場所と考えられます。

発掘調査から推測できる 黒谷館跡

最後に、時代については、

最後に、時代については、



渡部賢史学芸員



朝日地区センター前全景



出土した青磁片



出土したかわらけ(素焼きの皿)



出土した宋銭、祥符元寶

出土した土器から推測すると14世紀前半～15世紀前半(1301～1450年)の遺跡であると考えられますが、塔寺異本長帳と呼ばれる古文書には、「大永四年(1524)七月の条同21日山内俊清臣黒谷村 地頭山内兵庫介 父子三人討死 某叛ヲ企ニ横田・高根沢押寄テ誅ス、ココニ至リ子孫断絶」と記されており、1524年に山内兵庫が謀反を起こし、子孫断絶とあることから、館跡の廃絶が推測されます。土器年代とは約100年近くのズレが生じてい

ます。今回の発見された土器などは、記録に残っている山内兵庫以前の人物が使用していたものの可能性が高いです。また、黒谷村の歴史は今から500年以上前からあることがわかり、地主が住んでいるということはそれなりの黒谷地区の村が古来より形成されていたと考えられます。

七十苧遺跡の調査

11月、小林区七十苧遺跡の隣接地区の河川改修工事のため南会津建設事務所から町教育委員会に遺跡調査の依頼がありました。

七十苧遺跡は、弥生土器が出土した遺跡として只見町史に記載されています。発見された土器には、杵殻の跡が残っておりその土器の時代には只見町でも稲作が行われていたことがわかります。

埋蔵文化財をなぜ調査するのか
一度破壊されてしまったら永遠になくなってしまいますから、文化財保護法という法律で開発が伴う場所に埋蔵文化財があった場合は、隣接地区を開発する場合は、必ず調査を実施しなくてはならないことが決まっています。



七十苧遺跡土器・石器出土状況



▼ 児童全員が集まった朝の会で贈呈式



花 朝日小学校に人権の花運動感謝状 を育て、思いやりの心をはぐくむ

人権の花運動に参加した朝日小学校は、人権思想の普及高揚に大きな成果をおさめたとして、福島地方法務局から感謝状を受けました。贈呈式は12月15日、朝日小学校体育館でおこなわれ、只見町担当の人権擁護委員藤田節子さんから栗村良輔校長と児童代表の馬場夕稀君に感謝状が手渡されました。朝日小では、平成20年6月から6つのプランターにマリーゴールド、サルビアの種をまき、きれいな花を咲かせ、命の大切さを学びました。



笑 2008クリスマス 笑顔がいっぱいありました

12月、サンタクロースは大忙しでした。皆さんは、どのようなクリスマスをおすごしましたか。町内でも、さまざまなクリスマスイベントがおこなわれました。その一部を紹介します。

やまびこで活動している「こまどり会」と「たんぼの会」は12月14日に合同でクリスマス会を開き、36人が餅つきやフォークダンスで交流を深めました。田島ロータリークラブの小椋国光さんから参加者へ2種類のケーキが贈られ、関係者は甘いクリスマスプレゼントに喜んでいました。(写真①)

明和地区センターで活動している「すくすく赤ちゃんクラブ」は12月15日、ミニクリスマスリース作りをしました。二軒在家の山内聖子さんを講師に、11組の親子が山から採ってきた松ボックリなどの材料で、約2時間かけてリースを完成させました。(写真②)

12月16日に只見地区センターでおこなわれた「お父さんお母さんと遊ぼうコアクラブ」のクリスマス会では、参加者とスタッフ約80人が、リース作りや楽器遊びをして楽しみました。小さな子どもはプレゼントを渡すサンタさんにびっくりしながらも、喜んでいました。(写真③)



▼ 教室はただみコミュニティークラブが主催した



親子ふれあい運動教室 コーディネーショントレーニングで汗

12月14日只見中学校体育館で第2回親子ふれあい運動教室が開かれ、小学3年生までの25組の親子が参加しました。講師に会津坂下町の二瓶恭子さんを迎え、コーディネーショントレーニングという運動能力と情操を高めるトレーニングを楽しみました。参加者は「身体を動かして子どもとふれあうことの大切さを実感しました」と話していました。

▼ 若者が気楽に集える場がもっともっとあっていい



9 只見ロックフェスティバル'08 組のバンドが只見の夜を熱くした

「世界エイズデー」の趣旨に賛同した町内のバンドが、12月6日只見スキー場レストハウスでコンサートを開き、エイズの防止と患者に対する差別や偏見の解消を訴えました。今年で3回目となるこの取り組みはすっかり定着し、会場には若者を中心に約150人が詰め掛け、降雪前のレストハウスは熱気につつまれました。

「着」只見町観光振興プロジェクト事業講演会 地型旅行会社に期待すること・されること

12月19日湯ら里で開かれた旅行代理店JTB清水慎一常務取締役の講演会に、町内外から約50人が参加しました。講演で清水取締役は、JR東日本仙台支社長の時に只見線にSL運行を開始した当時の様子や、奥会津地域の魅力の磨き方について話しました。また、行政でも観光協会でも商工会でもない「まちづくり株式会社」の必要性について提言がありました。



▲ まちづくり株式会社の社長を公募しては？

「不」五十嵐英さん（只見）が本を出版 動尊と海老作本家

五十嵐さんの家は、代々、修験道をきわめたホウインでした。しかし明治新政府の政策により、修験道はなくなりました。五十嵐家は、その後も先祖と信者が建立した要害山の近くにある大土山の不動堂を守ってきました。84歳になった五十嵐さんは、昨年4月不動堂の世話役を引退。これを機に、家の古文書を一目でわかるように整理し、近所や親戚の方に配るために出版しました。



▲ 出版した本を手に自家不動尊の祭壇の前で

町史

とっておきの話

174

只見町文化財調査委員

飯塚恒夫

河井継之助 最後の十二日間

その6 只見から塩沢

継之助は、忠訓・忠恭両殿様の呼び寄せに応じようとはしませんでした。従僕の松蔵が、「奥様の云いつけで遺髪を欲しい」と云うと、快く切らせ、また懐剣を渡し「いざというときは、己を刺してくれ」とも云って、只見を死地と定めていたことが窺われます。

その継之助に、松本良順がどう説得したのか、良順が帰った翌日、行けるところまで行くことを承知し、七日間滞在した目明し清吉宅を後にして只見を発ちました。途中休所に予定されていた塩沢村の矢沢宗益方で、休息をとります。が、体調思わしくなく、矢沢宅に投宿することになりました。

医師矢沢宗益宅には、五月に牧野の大殿様が若松へ向かう折にも休息されています。

塩沢の岩瀧清四郎が書き残した『明治備忘録』（岩瀧正明氏蔵）に、「大殿様ハ、矢沢新角方、若殿ハ岩瀧清四郎方、奥方御女中方ハ五十嵐忠道方御休所」とあります。大殿の休所となった「矢沢新角」とは、宗益の次男です。当時三十八歳の新角が矢沢家の当主扱いの書き方になっているのを見ますと、その時の当主宗益は六十歳の年配者であり、長男宗順は病弱であったのか存在が薄く、その長男宗篤は十七歳で山内大学隊に従軍中で不在。新角が矢沢家の当主格であったのではないかと考えられます。

従って、継之助一行の対応は、宗益の次男新角が一切を取り仕切ったと思われれます。

塩沢における八月十二日から十四日の継之助の様子については、『邑従日記』に植田十兵衛の報告があります。「継之助殿、十二日塩沢駅迄参られ止宿。翌十三日朝五時前より、少々フサギ

気味にて、熱が出て、ウワコトばかりだった。夕方になって、小水があり、一回ほど通じがあって、追々快方となる。十四日朝は、特に別条もなかったが、体力の衰えが増して、若松まで参られ候も六ヶ敷」とあります。

十五日の夜、継之助は松蔵を枕辺に呼び、「松蔵や、永々厄介して呉りやう有り難かったでや」と礼を言っています。そして死期が明日に迫ったことを告げ、松蔵に死後は火葬にするよう命じます。

また、今夜のうちに納棺と骨箱を作るよう命じたのです。松蔵は涙を呑み慰めようとしたが「貴様の知ったことではない。用意しろと云ったら用意せよ」と叱りつけます。松蔵は、返す言葉もなく涙ながらに夜を徹して棺を作り、骨箱を二つ作りま

す。一つは土を入れ、途中もし西軍に見とめられた場合台には、それを渡してその場を逃れるためのものです。

十六日の朝、継之助は準備の整った様子を見て、大いに喜び、しばらくの間皆んなと談笑して過ごします。午後になって、ひと眠りしようと付き添いの者を遠ざけて眠りにつきますが、そのまま昏睡状態に陥り、午後八時ごろ、波乱に満ちた四十二年の生涯を閉じました。時に慶応四年八月十六日、只見に足を踏み入れて十二日目のことです。

『明治備忘録』に「御家老河井継之助殿手負ニテ当地山崎矢沢新角方御滞在中、死亡セラレ、火葬ニテ御持チトナル」とあり、遺言どおり火葬されました。火葬は翌十七日、塩沢川と只見川合流地点の通称「ざる岩」と云われる川原で、村人によって川木（流木）を集め茶毘に付されたことを伝えています。

塩沢の村人は、火葬の跡の残灰を拾い集め医王寺の墓所に埋葬し、手厚く供養がなされ現在も命日には墓前祭が行われています。



河井継之助の墓（町指定史跡）

8月16日の命日には地元の人々によって墓前祭が営まれている。う説得したのか、良順が帰った翌日、行けるところまで行くことを承知し、七日間滞在した目明し清吉宅を後にして只見を発ちました。途中休所に予定されていた塩沢村の矢沢宗益方で、休息をとります。が、体調思わしくなく、矢沢宅に投宿することになりました。

医師矢沢宗益宅には、五月に牧野の大殿様が若松へ向かう折にも休息されています。

運転現場の視点2

消雪パイプと 関わる人達の活躍(4)

● 樋口 良之 福島大学理工学群 共生システム理工学類 准教授



ひぐち よしゆき

東京生まれ
博士(工学)長岡技術科学大学

平成5年 ㈱重松製作所 研究員

平成6年 山形県庁 上級職員 技術
吏員

平成12年 長岡技術科学大学 講師

平成16年 長岡技術科学大学 助教授

平成19年 福島大学 准教授

・研究分野は「生産および物流シ
ステムのモデリングに関する研
究」ほか

只見町では、町役場から委託された方が地区の消雪パイプの運転スイッチを操作しています。今回も、先月号に引き続き、この消雪パイプの運転に尽力されている方々についてお話しします。

昨年の冬に、只見町で運転操作を担当されている方のうち、8名の方をご自宅に訪問させていただき、お話しをうかがうことができました。消雪パイプの運転操作を担当している方には、様々な努力と工夫が見られます。只見町では会津地域の天気予報より、新潟の方の予報を参考にしているのが現実的かどうかがい



福井にある消雪パイプの操作盤

ました。今では、局所的に細かな時刻区分で只見町の天気予報を放送やインターネットから入手している方もいらっしゃいます。そのため、細かく天候に対応することができると、電力消費を抑えるなど様々な環境問題に配慮し、こまめに、あるいは、深夜に、消雪パイプの操作へ出ることも多いそうです。また、天気予報や天候、路上の残

雪水を見ながら、学校へ通う生徒たちへ散水や融雪水水がはじかれにくいように、こまめに消雪パイプの作動と停止を行っている方もいらっしゃいます。勤めをしながら、家族の世話をしながら、良好な消雪道路を維持することは簡単ではありません。

運転操作を担当されている方の努力の限界を超えた問題として、消雪パイプの老朽化があります。もともと、只見町ほどの寒冷地では消雪パイプの使用には注意が必要と設計指針には示されています。設計通りの性能が発揮されてこそ、消雪パイプは有効に機能するわけです。もし、井水の温度や取水量が低くなれば、24時間散水しても道路の消雪は難しくなります。また、昭和40年代に設置された消雪パイプは老朽し、性能の維持が難しくなっています。特に、運転操作を担当されている方は、井水の水位低下、散水ポンプの老

朽化、散水ノズルの損傷などによる散水量の低下に悩まされています。時には、地区の方から、操作のタイミングについて注文があったり、理解できないような運転を指摘されたりすることもあります。

運転操作を担当されている方が確認すると、突発的な機器の故障、慢性化した機器の不具合によって、思うような操作ができなかったり、誤動作であったりすることもあります。このような状況が続く、運転操作を担当されている方とご家族に、かなりの心労が重なることもあります。

このように、消雪パイプの運転操作を担当されている方は、自分自身では解決困難な課題と向き合いながら、努力と工夫を重ねています。消雪パイプ設置地区のみならずのご理解と、時には暖かい励ましがあればと思います。

町民文芸



只見短歌会

十一月詠草

大塚栄一 指導

初冬の日の差す畑に残しおく余りに細き大根を抜く

斎藤ちひろ

古川 英子

近隣の新築成りしか凍てしるき今宵明りの点りて親し

目黒 富子

修理後に僅かな段差となりし道車押す媪息を弾ます

吉津 政枝

新居にて孫子と共に暮しをれど夢に出づるは里の古家ぞ

五十嵐夏美

知恵遅き子らと浸りし足湯より上がれば入浴したるが如し

渡部ゆき子

白鳥の飛来は雪の早しとふ伝へぞ田の面に群の見ゆるも

吉津久仁子

降る雨が霰に変わる暮れ時を面会帰りの娘を案ず

皆川 恒子

枕辺に身内ら集め三度もの手術に耐へ来し友は逝きたり

渡部ヨリ子

人ならば百歳越ゆる家の猫決まりし所に排便すます

新国 洋子

懇ろな看護支援の説明に独り居の姉は入所決意す

(出詠順)

只見俳句会

十二月例会

目黒十一 指導

只見川渡るカモシカ紅葉照る
西へ逝く友送らねば霜の花

邦 男

冬菊のひかりや軒に括られて
隣閣の一服香る冬の蜂

恒 夫

冬草を啄ばむ朱鷺の歩のゆるし
星月夜見上げて佐渡の波静か

吉 児

山里の九時は深夜に冬銀河
秋刀魚売る声生き生きと港町

隆 堂

無住家の松の根方の藪柑子
ゲートボール始まるまでの焚火の輪

邦 夫

銀杏の葉落ちたる後のなお大き
残菊のたばねられたるまま匂ふ

康 女

一茶忌や金子兜太の言う瘦瓶
一茶好きの人の集いし冬紅葉

笑 羊

初雪の近きを知らず温き風
小春日や演壇に説く身障者

リウコ

雲仰ぎ両足踏んで大根引く
湖に浮かぶ白鳥の群おだやかに

都

みかん箱りんご箱積み冬に入る
農の手の日に日に優し牡丹鍋

一 穂

大根を引き抜いてみて知る重さ
火祭の夜ややんわりと初雪

洋 子

柿吊し終えたる夜やテレスケホー
初雪や取り残したる葱の青

敦 子

暁の空極上に冬星座
白菜の大き過ぎたる重さかな

郁 子

初雪や学生寮の夕明り
居間の窓残し終えたる冬囲

礼

大根の隆々にとして曲がりいる
山の影来ぬうち退院冬菜畑

一 灯



電話番号

総務企画課	
総務班	☎82-5050
	☎82-5210
	☎82-5220
企画班	
町民生活課	
税務班	☎82-5110
町民班	☎82-5100
保健福祉課	
保健班	☎84-7005
福祉班	☎84-7010
産業振興課	
農林班	☎82-5230
交流推進班	☎82-5240
環境整備課	
地域整備班	☎82-5270
生活環境班	☎82-5280
会計室	☎82-8120
議会事務局	☎82-5300
農業委員会	☎82-5230
教育委員会	☎82-5320
学校給食センター	☎84-7180
只見保育所	☎82-2219
朝日保育所	☎84-2038
明和保育所	☎86-2249
朝日診療所	☎84-2221
(歯科)	☎84-2612
訪問看護ステーション	☎84-2130
	☎84-2101
こぶし苑	☎84-7005
保健福祉センター	☎84-7005
只見地区センター	☎82-2141
朝日地区センター	☎84-2111
明和地区センター	☎86-2111

参加者募集

出逢いふれあいフェスタ

第10回となる今回は、デイズニースーとデイズニージーフトホテル、お台場散策を入れた交流会です。町内の独身男性はもとより、町内の独身女性、町内に帰省予定の独身者の参加も歓迎します。

▼開催日 平成21年2月21日(土)～22日(日)

・21日(只見町↓ホテル↓東京デイズニースー↓オリエンタルホテル東京ベイ(パーティー/宿泊))

・22日(ホテル↓お台場↓只見町)

▼移動手段 貸切バス

▼参加費 男性16,000円、女性5,000円(宿泊代・デイズニースー入場料を含む。ただし21日昼食、22日朝食・昼食は個人負担)

▼募集人数 25歳～45歳位まで

放送大学

4月生募集のお知らせ

放送大学では平成21年度第1学期(4月入学)の学生を募集中です。

放送大学はテレビ等の放送を利用して授業をおこなう通信制の大学です。

心理学・福祉・経済・歴史・文学・自然科学など、幅広い分野を学べます。

働きながら学んで大学を卒業したい、学びを楽しみたいなど、様々な目的で幅広い世代、職業の方が学んでいます。

の男性20名・女性20名(先着)。今回は予算の都合上お子様との同伴はご遠慮ください。

▼募集期間 平成21年1月20日(火)まで

▼申し込み・問い合わせ NPO法人ふれあい交流縁結び隊 事務局 ☎86-2411

○15歳以上の方なら、1科目から学習する選科履修生・科目履修生として入学できます。

○18歳以上の大学入学資格をお持ちの方なら、無試験で全科履修生として入学でき、4年以上在学して、124単位を取得し卒業すると、学士(教養)を取得できます。

○一つの分野を体系的に学びたい方には「放送大学エキスパート」を実施しています。さらに専門的に学びたい方には、大学院も併設しています。資料を無料で差し上げています。お気軽にお問い合わせください。

▼出願期間 平成21年2月28日まで

▼資料請求・問い合わせ 放送大学福島学習センター ☎02-4-921-7471 ホームページ <http://www.u-air.ac.jp>

入学生・受講者募集

平成21年度NHK学園

NHK学園では、広域通信制高等学校および生涯学習通信講座の学生・受講者を募集しています。まずは、無料の案内書・願書をご請求ください。

▼募集内容

・高等学校普通科(NHKの放送を利用して3年で高校卒業資格取得)

・生涯学習通信講座(趣味から資格まで全200コース以上)

▼募集期間

・高等学校普通科 平成21年2月1日～4月20日

・生涯学習通信講座 通年申込み受付

▼問い合わせ NHK学園 ☎02-4-572-3151(代表)、案内書請求フリーダイヤル ☎0120-06-8881

「案内」

新規役チャレンジ支援事業

(財)福島県産業振興センターでは、「新規役」と呼ばれる企業等を退職された方や近く退職された経験や技術・知識等を活かしたいという意欲を持った方と、経営の改善や新製品づくりのために有能な人材を必要としている中小企業等をマッチングさせる事業をおこなっています。

「新規役」として登録したい方、「新規役」を活用したい企業等の双方を随時募集中です。

▼問い合わせ (財)福島県産業振興センター ☎024-525-4037 ファクス024-525-4036



ナスナ(アブラナ科/ナスナ属)

今月の納期

町民税(4期)

固定資産税(4期)

農集排使用料(1月分)

長寿医療保険料(6期)

1月26日までに納めましょう

世界選手権猪苗代大会

2009年FISフリースタイルスキー

3月2日(月)～8日(日)、福島県の磐梯・猪苗代エリアにおいて「2009年FISフリースタイルスキー世界選手権猪苗代大会」が開催されます。

FIS(国際スキー連盟)主催の世界選手権大会は、アルペン、ノルディック、フライング、スノーボードなど競技別に、2年に1度、世界一を決めるビッグイベントです。

フリースタイル競技の日本開催は1997年の長野大会以来



モーグル・デュアルモーグル会場(リステルスキーファンタジア)



▼問い合わせ
2009年FISフリースタイルスキー世界選手権猪苗代大会組織委員会 ☎0242-721557、ホームページ <http://inawashiro2009.jp>

2回目で、モーグル、デュアルモーグル、エアリアル、スキークロス、ハーフパイプの5種目に、史上最大規模の33か国・地域から約600名の選手団が集います。

昨年ワールドカップ女子モーグル総合優勝に輝いた上村愛子選手を始め、地元チーム所属選手を含む過去最強の日本代表チームの活躍が大いに期待されます。

世界最高峰の華麗な技とスピードを大迫力の生で観戦できる絶好の機会です。皆さんも是非、会場にお越しください。

町長室日誌

〈12月分〉

- 2日 12月補正予算町長査定
- 3日 第2回滝調整池堆砂対策連絡協議会
湯ら里役員会
- 4日 只見町戦没者慰霊祭、南会津地方町村長会、
南会津地方広域市町村圏組合第6回管理者会
- 5日 朝礼、庁議、明和小学校改築工事上棟式
- 8日 河川関係要望活動のため南会津建設事務所
及び県庁
- 11日 只見高校バス納車式
- 12日 福島県立医科大学用務
- 15日 小沼昇町長退任式
- 16日 目黒吉久町長初登庁、就任式、庁議
- 18日 新旧町長事務引継ぎ、長岡国道事務所長来庁
- 19日 12月定例議会開会(～25日)
- 22日 雪まつり「雪むすめ」委嘱状交付式
- 25日 猪苗代フリースタイルスキー大会事務局長、
猪苗代町長及び猪苗代町議会議長来庁
- 26日 役場仕事納め式

労災保険から

石綿による健康被害の 救済に関する法律の 一部改正について

「石綿救済法」の一部が次のように改正され、平成20年12月1日から施行されました。

▼改正内容

- ①特別遺族給付金の請求期限が、法の施行日(平成18年3月26日)から6年を経過した日(平成24年3月27日)まで延長されました。(これまで、平成21年3月27日までが請求期限でした)
- ②特別遺族給付金の支給対象

が、平成18年3月26日までに死亡した労働者の遺族であって労災保険法の遺族補償給付を受ける権利が時効によって消滅した者まで拡大されました。※これまでは、平成13年3月27日から平成18年3月26日までに死亡した場合で、死亡後5年以内で労災保険法の遺族補償給付の請求をおこなわなかったときは時効により受給権が消滅していました。

▼問い合わせ 福島労働局労働基準部労災補償課 ☎024-53614605

町職員の退職

12月31日付

●新国 勇

(総務企画課)

おねがい

1月 雪おろしをする時は引込線に注意しましょう。



町民の消息

(12月1日～12月31日届出分・敬称略)

■ご結婚おめでとうございます

坂田 梁取 誠 伊達郡保原町 佐藤由紀子

■おくやみ申し上げます

三瓶 金次郎	89才	深沢 沢
馬場 キセノ	86才	大倉 倉
広畑 サク	82才	新町 町
宮本 テイ	81才	長浜 浜
五十嵐 藤夫	86才	宮宮 宮
三ヶ山 鐘秀	48才	只見 見
新國 義徳	81才	只見 見
五十嵐 トミ子	72才	塩沢 沢
菊地 良延	98才	梁取 取

※「町民の消息」欄に掲載を希望されない方は、届出のときにその旨をお伝えください。

人のうごき

平成20年12月1日現在

人口 5,098 (-2)
 男 2,432 (-3)
 女 2,666 (+1)
 世帯数 1,899 (±0)
 高齢化率 41.1%

※高齢化率とは、65歳以上の人が人口に占める割合です。

転入 2 転出 1 出生 4 死亡 7

今月の表紙



「しめ飾りを作ったよ」6月に只見スキー場で刈取られたイワシバは、陰干し後に保存されて半年、しめ飾りにな

った。12月6日只見地区センターでおこなわれたしめ飾りづくり講座は、世代間交流の場にもなっていた。

▽新しい年を迎えるのと、何か期待する。年末には、何年か振り返っていた。事件入ったが、スポーツ選手が活躍する映像を見て心が和んだ。▽スポーツ選手の活躍は、日々の地道な努力の積み重ねから生まれている。見習いたい。▽不景気な時こそプラス思考でいきたい。格闘家いわく「元気があれば何でもできる」

あとがき

ふたりの草花



ヤブコウジ

ヤブコウジ科

山地に生える常緑低木。ほとんど気づかないほど小さな木ですが、赤い実をつけると、がぜん目立ちます。同じヤブコウジ科のマンリョウとともに、正月の鑑賞用として重宝されます。

五十嵐 貴則 主査

只見地区センター
図書室 ☎82-2141

おすすめ新着図書

《希代の小説家二人の競作を揃えております！》

★右岸

辻 仁成 / 著 (集英社)



福岡で隣同士に住んでいた九と茉莉。不思議な力を授かりながら、人を救うことができず苦しむ九。放浪の後、パリで最愛の女性・ネネに出会うが、いつも心の片隅には茉莉がいて…。辻仁成と江國香織の奏でる二重奏ふたたび。愛を信じていることができるあなたに贈る大きな希望の物語。

★左岸

江國香織 / 著 (集英社)



「女の半生」を力強く描いた江國香織の意欲作。直感的に行動し、恋をする茉莉。駆け落ち、同棲、結婚、出産、別れなど、重大な局面には果敢に飛び込み、不器用に真摯に解決する。辻仁成と再び組み、「人生」という川を女の視点から綴る意欲作。

町民憲章

- 1、ゆたかな緑ときれいな水をまもり美しい町をつくりましょう
- 1、互いに助け合い親切をつくし楽しい町をつくりましょう
- 1、産業をおこしみんなで働ける豊かな町をつくりましょう
- 1、教養を深め心と体をきたえ文化の町をつくりましょう
- 1、きまりを守り良い風習を育て住みよい町をつくりましょう

ゆき 雪むすめ



雪まつりのPR活動や会場の案内をしてくれる「雪むすめ」。12月22日、渡部寿子さん（左）、目黒敦子さん（右）に委嘱状が交付された。雪と暮らす町の最大イベント雪まつり。まつりは2月14日、15日。

※この広報紙は再生紙を使用しています



※環境にやさしい大豆油インキを使用しています

イベントカレンダー

1月

- 25日（日）「只見毎日杯GS大会」
：只見スキー場

2月

- 14、15日（土・日）
「第37回只見ふるさと雪まつり」
：JR只見駅前広場
 - 14、15日（土・日）
「スノーシュー散策」
：只見スキー場
 - 21、22日（土・日）
「第10回出逢いふれあいフェスタ」
 - ▼ 六十里越雪わり街道フォトコンテスト作品募集中。応募締切一月二十日当日消印有効
 - ▼ 問い合わせ
只見町観光まちづくり協会
☎ 82-5250
- 営業時間 午前8時半～午後6時